

製品名: DDX39B マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81547**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	49kDa

抗原情報

遺伝子名	DDX39B
別名	BAT1; UAP56; D6S81E
遺伝子 ID	7919.0
SwissProt ID	Q13838
免疫原	大腸菌で発現したヒト DDX39B (AA: 1-250) の精製された組み換え断片。

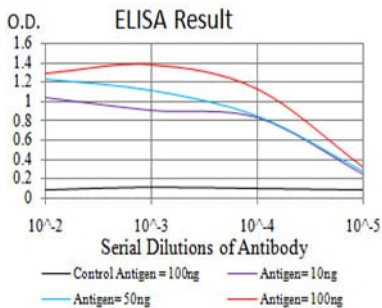
背景

この遺伝子は、pre-mRNA スプライシングにおいて ATP 加水分解を媒介する RNA 依存性 ATPase の DEAD ボックスファミリーのメンバーをコードします。コードされているタンパク質は、U2 核小体リボ核タンパク質と pre-mRNA の会合に必要な必須のスプライ

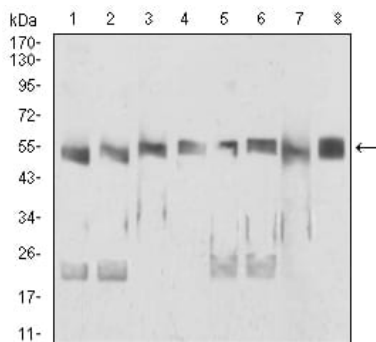
シング因子であり、核から細胞質への mRNA の輸送においても重要な役割を果たします。この遺伝子は、腫瘍壊死因子 α および腫瘍壊死因子 β をコードする遺伝子の近傍に局在する遺伝子クラスターに属します。これらの遺伝子はすべて、ヒト主要組織適合遺伝子複合体クラス III 領域内にあります。この遺伝子の変異は、関節リウマチに関連する可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。関連する疑似遺伝子は、染色体 6 と 11 の両方で特定されています。この遺伝子と上流の ATP6V1G2 (ATPase、 H^+ 輸送、リソソーム 13kDa、V1 サブユニット G2) 遺伝子の間でもリードスルー転写が起こります。

研究分野

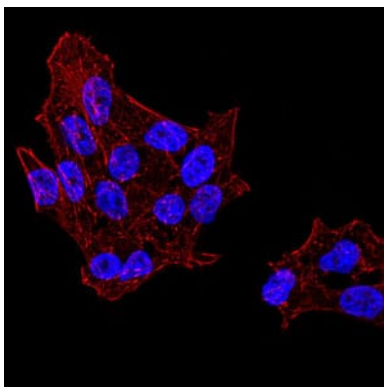
画像データ



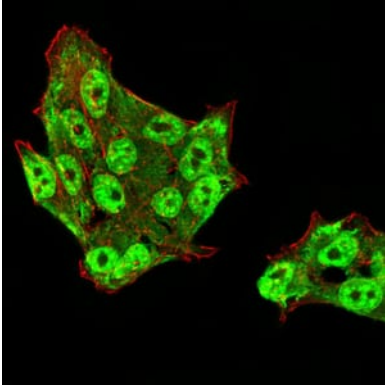
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



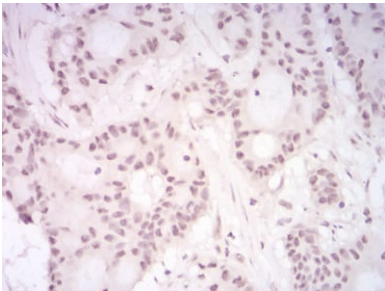
HepG2 (1)、HepG2 (2)、K562 (3)、Jurkat (4)、NIH/3T3 (5)、MCF-7 (6)、Jurkat (7)、および Hek293 (8) 細胞溶解物に対する DDX39B マウス mAb を使用したウエスタンブロット解析。



DDX39B マウス mAb を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識したアクチンフィラメント。



DDX39B マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



DAB 染色による DDX39B マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト HeLa 組織の免疫組織化学分析。